seca 704

目次

1. 製品についての説明

1.1 お買い上げいただき、ありがとうございます！

購入いただいたこのデジタル体重計 **seca 704** は、高精度でしかも頑丈な製品です。

170 年以上にわたって seca 社はマーケットリーダーとして世界各国で計量と測定向けの先進的開発によって、新たな基準を打ち立て続けています。

1.2 用途

このデジタル体重計 **seca 704** は各国の規定に準拠した上で、主に病院、クリニック、老人福祉介護施設などで使用されています。

seca 704 は、通常の体重測定とならんで、Body-Mass-Index（BMI）を計算する機能を備えています。ボタン操作で身長を入力すると、測定された体重値の Body-Mass-Index（BMI）が自動的に算定されます。

測定結果は、ワイヤレスネットワーク **seca 360 –ワイヤレス**を通じて seca ワイヤレスプリンターに、もしくはソフトウェア **seca analytics 105** と **seca 360 – ワイヤレス USB アダプター 456** を備えたパソコンにワイヤレスで転送されます。

seca 704 は、キャスターで移動させることができ、また消費電力が少なく乾電池を使用して長時間、ワご使用いただけます。

2. 安全に関する情報

2.1 安全に関する基本的注意

- 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 体重計が傾斜のない平坦な下地に安全な状態で置かれていることを確認してください。
- 体重計を落下させないでください。この体重計に強い衝撃を与えないでください。
- この体重計を別売の AC アダプターでご利用される場合、電源ケーブルは、つまずく危険がないように配置してください。
- 定期的に定期検査を受けてください。30 ページの「国家検定 / 定期検査およびメンテナンス」を参照。
- メンテナンスおよび修理は、必ず資格を有するサービス担当者に行わせてください。詳しくは、info@seca.co.jp もしくは 043-216-0850 までお問い合わせください。
- アクセサリーや交換部品については、必ず seca 社オリジナルの物をご使用ください。その他のものを使用した場合に生じた不具合については保証いたしかねます。
- 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といった HF（短波）装置とは、最低でも 1 メートルの距離をあけてください。

2.2 この取扱説明書での安全上の注意

危険！
危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。

警告！
危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながることがあります。

注意！
危険状況を表示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながることがあります。

気をつけて！
製品の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意を無視した場合、製品を損傷させたり誤った測定結果が出ることがあります。

注意事項
この製品の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

2.3 乾電池の扱い

この製品は、6 本の単三乾電池と一緒に納品されます。この電池は、再充電できません。以下の安全上の注意に留意してください。

警告！
不適切な扱いによる人体の被害
乾電池は有害な物質を含んでおり、不適切な扱いをすると激しい勢いで噴出することがあります。

– 乾電池の再充電を試みることはお止めください。
– 乾電池を加熱してはいけません。
– 乾電池を燃焼させてはいけません。
– 酸が漏れ出した場合には、皮膚、目、粘膜に触れないようにしてください。触れてしまった箇所があれば、十分に清浄な水ですすぎ流し、すぐに医師の診察を受けてください。

気をつけて！
不適切な扱いによる製品の破損および誤作動

– 必ず指定されている乾電池タイプをご使用ください 11 ページの「乾電池を入れる」を参照。
– すべての乾電池は必ず同時に交換してください。
– 乾電池を交換する際には、電極を逆にしないで下さい。ショートします。
– 製品を長い間ご使用にならない場合には、乾電池を取り外してください。そのようにすれば酸が製品に漏れ出すということがありません。

3. 概観

3.1　操作エレメント

No.	操作エレメント	機能
1	⏻	体重計のオン / オフ
2	▲保持 2 in 1	矢印ボタン • 体重測定中 - 短く押す　　保持機能 - 長く押す　2 in 1 機能をオンにする • メニュー内で - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を増やす
3	体格指数 ▼メニュー	矢印ボタン • 体重測定中 - 短く押す　　BMI 機能をオンにする - 長く押す　メニューを呼び出す • メニュー内で - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を減らす
4	送信 印刷	エンターボタン • 体重測定中（ワイヤレスネットワークが設定されているとき） - 短く押す　　測定結果を受信可能な装置（USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に転送する - 長く押す　測定結果を印刷する（ワイヤレスプリンター） • メニュー内で - 選択したメニュー項目を確定する - 設定した値を保存する
5	ディスプレイ	測定結果および体重計設定状況の表示部

No.	操作エレメント	機能
6	電池収納スペース	6 本の単三乾電池（1.5 V）を収納
7	アダプター接続部	別売オプションの AC アダプターを接続するための部位
8	移動用キャスター	体重計を移動させる
9	脚部調整ねじ	4 個、正確な位置調整のために使用
10	水準器	体重計置が水平に立っているかを表示

3.2 ディスプレイ上のシンボル

	シンボルマーク	意味
A		乾電池の電圧が低下
B		AC アダプターによる運転
C		表示されている測定値が検定対象外である

3.3 型式ラベルの標示

テキスト / シンボルマーク	意味
Modell	モデル番号
Ser. No.	シリアル番号
	取扱説明書に留意
	電子医療機器（タイプ B）（ヨーロッパ内）
	保護絶縁されている、保護クラス II
M	装置は指令 2009/23/EC に適合（ヨーロッパ内）
III	指令 2009/23/EC に準拠して検定　クラス III（ヨーロッパ内）

テキスト / シンボルマーク	**意味**
	特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則に適合。 認証番号　202WW09118012
	家庭ゴミとして廃棄しないこと
+—◉—-	直流電流のみを使用

3.4 メニュー構造

この装置体重計は、様々な機能があり、お客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます（詳しくは 16 ページ以降で）。

* ワイヤレスネットワーク seca 360 -ワイヤレス

<u>グループ（ID）</u>

最大で 3 つの seca ワイヤレスグループ　0、1、2

<u>ワイヤレスグループごとの最大設定</u>

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 ワイヤレスプリンター
- 1 USB ワイヤレスモジュール付パソコン

<u>チャンネル（C1、C2、C3）</u>

- ワイヤレスグループごとに 3 チャンネル（合計 9 チャンネル）
- チャンネル数　0 - 99
- どのチャンネルも一回限り使用
- 推奨間隔　30

<u>設定の例</u>

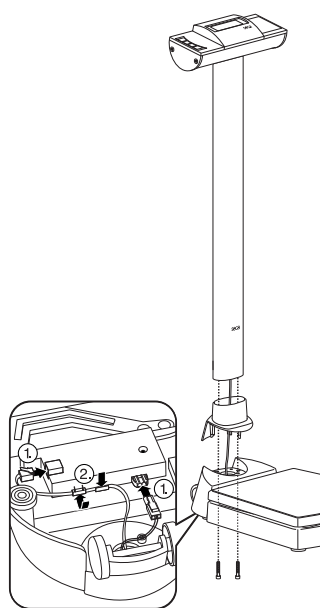
- グループ 0　C1 0、C2 30、C3 60
- グループ 1　C1 10、C2 40、C3 70
- グループ 2　C1 20、C2 50、C3 80

（注意事項　ディスプレイには空きスペースなし）

<u>認識された装置（Mo）</u>

- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: USB ワイヤレスモジュール付パソコン
- 7: 乳児用体重計

4. ご使用になる前に …

4.1 ポールの組み立て

ディスプレイ付きのポールは、二つの位置で組み立てることができます。それにより立ち位置に対してどの方向で表示を読めるようにするのかを決めることができます。

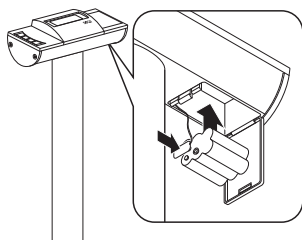
1. ポールの接続部をポールに差し込みます。
2. 空いている任意の場所に向けてポールを設置します。
3. ねじ込むことでポールを下から体重計の床に接続していきます。

   場合によっては、ねじを締め付けるために体重計をそっと横に寝かせます。
4. 図が示すように、ディスプレイケーブルのプラグを体重計台座の裏側に接続します。

   気をつけて！
   誤った組み立てによる誤作動
   例えば大きくたわんでいたり、プラグが折れ曲がっていたりしてケーブルに張力がかかっていると誤った表示やディスプレイの故障が発生することがあります。
   – すべてのケーブルは、強くたわむことがないように、またプラグが折れ曲がらないように設置してください。
   – すべてのケーブルを適切な留め金に配置し、引っ張られることがないように注意してください。
5. ケーブルは、適切な留め金に固定してください。
6. そして体重計を再び立ててください。
7. ポール接続部を真下にずらし、体重計台座の上にかかるようにします。

4.2 電力を供給する

体重計の電源供給は、乾電池もしくはアクセサリーとして別売となっている AC アダプターによって行われます。

乾電池を入れる

6 本の単三乾電池（1.5 V）が必要です（試験用に 1 セットの乾電池が同梱されています）。

1. 電池収納スペースのカバーを押します。
2. 電池収納スペースのカバーを折り返します。
3. 乾電池の留め金を引き出します。
4. 乾電池をその留め金にセットします。

注意事項

電池の +/- 極を正しくセットしてください（電池の留め金のマーキングに注意）。ディスプレイに bAtt と表示されたら、乾電池の中に極を逆にセットされたものがあるか、あるいは乾電池が空です。

5. 留め金を乾電池といっしょに電池収納スペースにセットします。
6. 電池収納スペースを閉じます。

AC アダプターを接続する（オプション）

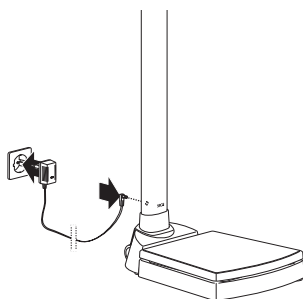
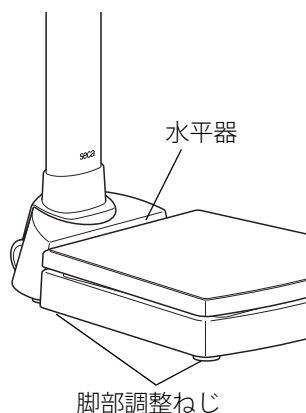
体重計は、別売の AC アダプターを使って運転することができます。

警告！

不適切な AC アダプターを使用したことによる人と製品置の被害

市販の電源ユニットは、そこに記載されているよりも高い電圧を供給する場合があります。体重計がオーバーヒートし、出火し、溶解、ショートすることがあります。

– 9 ボルトないし制御された 12 ボルトの電圧を供給する seca のオリジナル AC アダプターだけをご利用ください。

1. ＡＣ アダプターの電源プラグを体重計の接続ジャックに差し込みます。
2. その ＡＣ アダプターを電源コンセントに差し込んでください。

4.3 体重計を設置する

気をつけて！
他の部分に重さがかかることによる誤測定
体重計がケースとともに、例えばタオルの上に載っていると、体重を適切に測定することができません。

– 体重計の脚部調整ねじだけが床と接触するように体重計を設置してください。

1. 体重計は堅い平面上に設置してください。
2. 脚部調整ネジを回して、体重計の位置を調整します。
   水平器の気泡が正確に円のちょうど中央に来るように調整してください。

5. 操作

5.1 体重を測定する

体重測定プロセスを開始する

1. 体重計に何も載せられていないことを確認してください。
2. スタートボタンを押します。
   ディスプレイには SECA と表示され、ディスプレイのすべてのエレメントが短い間表示されます。
   ディスプレイに 0.0 と表示されれば体重計は準備完了です。
   AC アダプターをご使用の場合は、というシンボルが表示されます。
3. 体重計の上に乗り、体を動かさずに立ってください。
4. 測定結果を読み取ります。

乳児 / 幼児の体重を量る（2 in 1）

2 in 1 機能を使えば、乳児および幼児の体重を量ることができます。それには体重測定の間、大人が子供を腕で抱きかかえます。以下の手順で行います。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認してください。
2. 大人に体重計に乗ってもらってください。
3. 測定結果を読み取ります。

4. 矢印ボタン（**保持 /2 in 1**）を「NET」というメッセージがディスプレイに表示されるまで押し続けます。
   これで体重が記録されました。
   ディスプレイに 0.0 と表示されます。

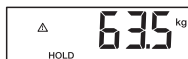
   気をつけて！
   初期重量が変わることによる誤測定
   子供の体重測定が、他の初期重量と一緒に行われると子供の体重を正しく測定することができません。
   – 子供の体重測定は、つねに初期重量を測定された大人の人が子供を抱いて行っているか確認してください。
   – 大人の体重が、着ていた服を脱ぐなどして変化していないかを確認してください。

5. 大人に子供を抱いた状態で体重計に乗ってもらってください。
   すると子供の体重が表示されます。
   というシンボル、⚠ というシンボル、それに「HOLD」および「NET」というメッセージが表示されます。
6. 大人に子供と一緒に体重計から降りてもらってください。

7. 2 in 1 機能をオフにするには矢印ボタン（**保持 /2 in 1**）を、というシンボル、⚠ というシンボル、それに「HOLD」および「NET」というメッセージが表示されなくなりなるまで押すか、体重計のスイッチをオフにします。

測定結果を表示し続ける（HOLD）

HOLD（保持）機能をオンにしていると、体重値は体重計に重さがかからなくなってもずっと表示され続けます。ですからまだ体重値を記録していなくても患者のケアをすることができます。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認してください。
2. 患者に体重計に乗ってもらってください。

3. 矢印ボタン（**保持 /2 in 1**）を短く押します。

   表示は、測定されている体重が安定するまで点滅します。安定すると体重値が表示されたままになります。⚠ というシンボル（検定できない機能）および HOLD（保持）というメッセージが表示されます。

4. HOLD（保持）機能をオフにするには矢印ボタン（**保持 /2 in 1**）を短く押します。
   ⚠ というシンボルおよび HOLD（保持）というメッセージは表示されなくなります。

   注意事項
   自動保持機能がオンになっていると、体重値は自動的に表示されたままになります。18 ページの「自動保持機能をオンにする（Ahold）」を参照 .

Body Mass Index を測定・評価する（BMI）

Body-Mass-Index（BMI）は、身長と体重の相関関係を表わし、それにより Broca に基づく理想体重などよりも正確なデータを作成することができます。これは健康的に最適とみなされる許容範囲を提示します。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認してください。
2. 矢印ボタン（**体格指数 / メニュー**）を短く押します。
   「BMI」というメッセージが表示されます。
   ディスプレイに矢印が点滅します。
   最後に入力された身長が表示されます。

3. 表示された身長を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他の身長を設定します。

4. エンターボタン（**送信 / 印刷**）でその設定を確定します。
5. 患者に体重計に乗り、体を動かさないように立ってもらってください。

6. BMI を読み取り、それをさらに以下に表示されるカテゴリーと比較します。

7. BMI 機能をオフにするにはエンターボタン（**送信 / 印刷**）を短く押します。

BMI	評価
18.5 より小さい	患者の体重は軽すぎます。食欲不振・拒食症の傾向があるのかもしれません。健康と体力を増進するには、体重を増やすことが推奨されます。その疑いがある場合には専門医に相談してください。
18.5 ～ 24.9	患者は通常の体重です。このままの状態で問題はありません。
25 ～ 30（前肥満）	患者は、軽度から中度の肥満です。既に罹っている病気（例えば糖尿病、高血圧、痛風、脂質代謝異常）がある場合には、体重を減らしたほうが良いでしょう。
30 超	早急な減量が必要です。代謝、循環、骨格に負担がかかっています。継続的なダイエット、多くの運動、行動トレーニングが推奨されます。その疑いがある場合には専門医に相談してください。

BMI を自動的に算定し印刷する

この体重計を **seca 360 -ワイヤレス**システムのワイヤレスプリンターと身長計と一緒に使用すると、BMI を自動的に計算し、印刷することができます。

注意事項
これらの装置がワイヤレスグループにともに登録されていることが、この機能の前提条件です（21 ページの「ワイヤレスネットワーク seca 360 -ワイヤレス」を参照）。

1. 体重測定を実行します。
2. 体重計のエンターボタン（**送信 / 印刷**）を短く押します。
   測定値がワイヤレスプリンターに転送されますが、印刷されません。
3. 身長測定を実行します。
4. 身長計のエンターボタン（**送信 / 印刷**）を長く押します。
   測定値がワイヤレスプリンターに転送されます。
   BMI が計算されます。
   身長、体重、BMI が印刷されます。

測定結果をワイヤレス受信装置に転送する

体重計が **seca 360 -ワイヤレス**ワイヤレスネットワークに統合されていると、ボタンを押すと測定結果を受信可能な装置（ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に転送することができます。

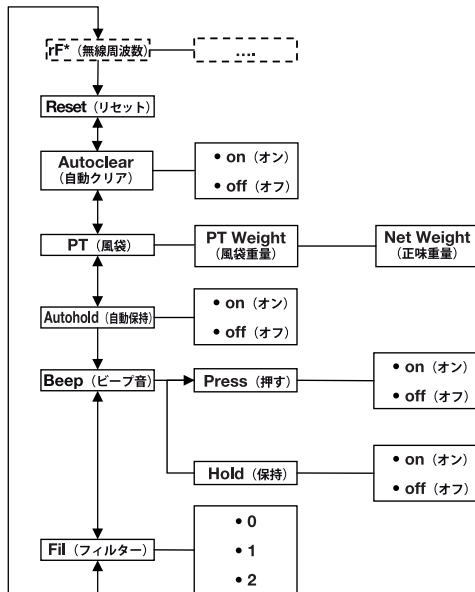
♦ エンターボタン（**送信 / 印刷**）を押します。
- ボタンを短く押す　測定結果をすべての受信可能な装置に送ります。
- ボタンを長く押す　測定結果をワイヤレスプリンターで印刷します。

体重計をオフにする

♦ スタートボタンを押します。

注意事項
乾電池で運用されているときは、体重計に何も載せられていないと、しばらくして体重計は自動的にオフになります。

5.2 その他の機能（メニュー）

この体重計のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの体重計をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。

*メニュー項目「rF（無線周波数）」の説明は、“「ワイヤレスグループ内の体重計の運用（メニュー）」ページの 23 の章をご覧ください。

メニュー内をナビゲーションする

1. 体重計をオンにします。
2. 矢印ボタン（**体格指数 / メニュー**）をメニューが表示されるまで押し続けます。

   最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます（ここでは自動保持「Ahold」）。

3. 矢印ボタンを、ご希望のメニュー項目がディスプレイに表示されるまで何度も押します（ここでは抑制「Fil」）。

4. エンターボタン（**送信 / 印刷**）で選択を確定します。
   メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます（ここでは段階「0」）

5. 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタンを、ご希望の設定（ここでは段階「2」）が表示されるまで何度も押してください。

6. エンターボタン（**送信 / 印刷**）でその設定を確定します。
   メニューは自動的に終了します。

7. 他の設定を行うには、メニューを新たに呼び出し、既に説明したやり方で設定を行います。

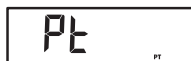
注意事項
約 24 秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

保存した値を自動的に削除する（AClr）

現在の測定結果が体重計のメモリーに残り、誤った BMI 計算が行われるのを回避するには、測定結果が測定後 5 分後に自動的に削除されるように設定することができます。

注意事項
モデルによってはこの機能が工場出荷時にオンになっていることがあります。ご希望により、この機能はオフにすることができます。

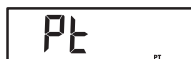
1. メニューで項目「AClr」を選択します。
2. その選択を確定します。
3. ご希望の設定を選択します。
   - On（オン）
   - Off（オフ）
4. その選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。

使い重量を保存したままにする（Pt）

風袋（患者が身に着けるもの）重量事前設定機能を使うと、追加重量を保存しておき、測定結果から自動的に差し引くことができます。例えば靴や衣服の総重量を保存しておき、患者が靴や服を着たまま体重を測定し、そこから靴や衣服の総重量を差し引くことができます。

1. メニューで項目「Pt」を選択します。
   「Pt」というメッセージが表示されます。
2. 選択を確定します。

   ディスプレイに矢印が点滅します。
   最後に保存した追加体重が表示されます。
3. その保存されている値を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って変更します。

   注意事項
   値「0」を入力するとこの機能はオフになります。「Pt」というメッセージがディスプレイに表示されなくなります。
4. 選択を確定します。
5. 患者に体重計に乗ってもらってください。

   患者の体重が表示されます。
   保存されている追加重量が自動的に差し引かれます。
6. この機能をオフにするには、メニューでもう一度項目「Pt」を選択します。
7. 選択を確定します。
   この機能はオフになりました。
   メニューは自動的に終了します。

自動保持機能をオンにする（Ahold）

自動保持機能をオンにしていると、体重測定を行ったときの測定値は体重計に重さがかからなくなってもずっと表示され続けます。こうすると体重測定を行うたびに保持機能を手動でオンにする必要がありません。

注意事項

- モデルによってはこの機能が工場出荷時にオンになっていることがあります。ご希望により、この機能はオフにすることができます。
- ここで選択された設定とは関係なく、2 in 1 機能では子供体重はいつも自動保持で測定されます。

AHOLd

1. メニューで項目「Ahold」を選択します。
2. その選択を確定します。
   現在の設定が表示されます。

On

3. ご希望の設定を選択します。
   – On（オン）
   – Off（オフ）
4. 選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。

シグナル音をオンにする（BEEP）

ボタンを押したとき、体重値が安定したときにシグナル音を鳴らすことができます。後者は、保持 / 自動保持機能にとって重要です。

注意事項
「体重値が安定するとシグナル音が鳴る」機能は工場出荷時にオンになっています。ご希望により、この機能はオフにすることができます。

bEEP

1. メニューで項目「BEEP」を選択します。
2. その選択を確定します。
3. メニュー項目を選択します。

PrESS

   – Press　ボタンを押したときにシグナル音
   – Hold　体重値が安定したときにシグナル音
4. 選択を確定します。

On

   現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択します。
   – On（オン）
   – Off（オフ）
6. 選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。
7. 二つ目の機能に対してもシグナル音をオンにしたい場合には、この手続きを繰り返してください。

抑制を設定する（Fil）

抑制（Fil（フィルター））により、体重測定の際の障害（例えば、患者の動きによるそれ）を減らすことができます。

FIL

1. メニューで項目「Fil」を選択します。
2. その選択を確定します。

FIL 0

   現在の設定が表示されます。

3. 抑制レベルを選択します。
   - 0: 低い抑制度
   - 1: 中程度の抑制
   - 2: 高い抑制度
4. その選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。

工場出荷時の設定に戻す（RESET）

次に挙げる機能は、工場出荷時の設定に戻すことができます。

機能	工場出荷時の設定
自動保持機能（Ahold）	モデルごとに異なる
シグナル音（Press）	off（オフ）
シグナル音（Hold）	on（オン）
抑制（Fil）	0
自動クリア（Aclear）	モデルごとに異なる
風袋重量の事前設定（PT）	0 kg
Body Mass Index（BMI）に対する身長	170 cm
ワイヤレスモジュール（SYS）	off（オフ）
自動転送（ASend）	off（オフ）
自動印刷（APrt）	off（オフ）

注意事項
工場出荷時の設定を復元する場合、ワイヤレスモジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されます。ワイヤレスグループを新たに設定する必要はありません。

1. メニューで項目「Reset」を選択します。
2. その選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。
3. 体重計をオフにします。
   工場出荷時の設定が復元され、体重計を再びオンにすればその設定を使用できます。

6. ワイヤレスネットワーク SECA 360 -ワイヤレス

6.1 はじめに

本製品はワイヤレスモジュールを備えています。ワイヤレスモジュールがあれば、測定結果を評価、記録するためにそのデータをワイヤレスで転送することができます。データの転送は、以下に挙げる装置に対して可能です。

- seca ワイヤレスプリンター
- seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン

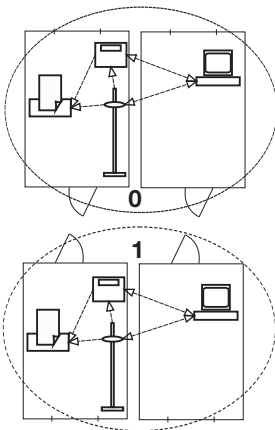
seca ワイヤレスグループ

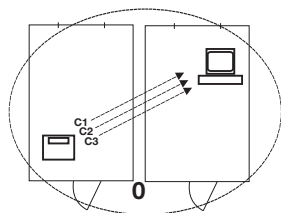
このワイヤレスネットワーク **seca 360 -ワイヤレス**は、ワイヤレスグループとともに機能します。ワイヤレスグループとは、発信装置と受信装置のバーチャルグループです。同じ型式の複数の発信装置と受信装置を運用する場合、本製品では 3 つまでのワイヤレスグループ（0、1、2）を設定できます。

複数の検査室がそれぞれ同等の製品を備えて運用される場合、複数のワイヤレスグループを設定すれば、信頼できる方法で、かつ送信先を誤らずに測定値を転送することが可能になります。

発信装置と受信装置の最大間隔は約 10 m です。それぞれの場所の特定の条件、例えば壁の厚さや特性により、この到達距離は短くなることもあります。

ワイヤレスグループごとに、以下の装置のコンビネーションが可能になります。

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 seca ワイヤレスプリンター
- 1 seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン

チャンネル

1 つのワイヤレスグループのなかで、本製品は 3 つのチェンネル（C1、C2、C3）で互いに交信します。このようにして信頼でき、かつ支障のないデータ転送が可能になります。

本製品でワイヤレスグループを設定すると、装製品は、最適なデータ転送を可能にする 3 つのチャンネルを提案します。提案されたチャンネル数を採用するようお奨めします。

もっと多くのワイヤレスグループを設定したいときなどは、チャンネル数（0 から 99 まで）をマニュアルで選択することもできます。

データ転送を支障なく行うには、チャンネルはお互いに十分に離してください。30 以上の間隔をあけることを推奨します。どのチャンネル数もそれぞれ 1 つのチャンネルに対してのみ使用されます。

設定例　クリニック内で 3 つのワイヤレスグループを設定する際のチャンネル数

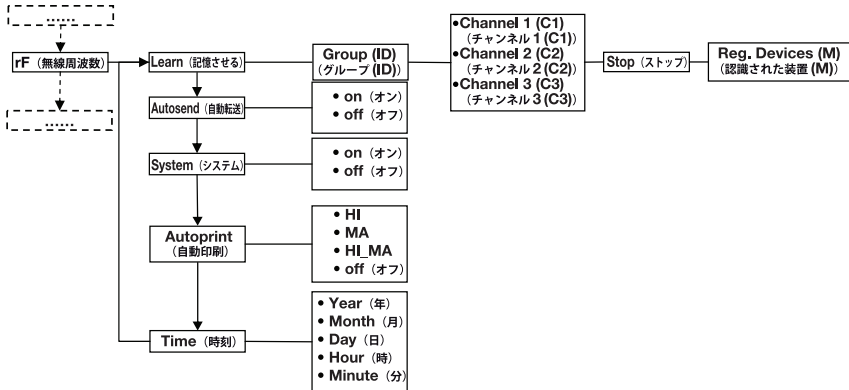
- ワイヤレスグループ 0　C1=_0、C2= 30、C3=60
- ワイヤレスグループ 1　C1=10、C2=40、C3=70
- ワイヤレスグループ 2　C1=20、C2=50、C3=80

装置の認識

本製品でワイヤレスグループを設定すると、グループはその他のアクティブな装置を **seca 360 –ワイヤレス**システムから探します。認識された装置は、この体重計のディスプレイにモジュール（例えば、MO 3）として表示されます。その数値には以下の意味があります

- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン
- 7: 乳児用体重計
- 5、6 および 8-12: システム拡張のための予備

6.2 ワイヤレスグループ内の体重計の運用（メニュー）

本製品を seca ワイヤレスグループの中で運用するのに必要なすべての機能は、サブメニュー「rF」で説明されています。メニューのナビゲーションのための情報は、17 ページに記載されています。

ワイヤレスモジュールをオンにする（SYS）

本製品はワイヤレスモジュールをオフにして納品されます。ワイヤレスグループを設定する前にそれをオンにしてください。

注意事項
ワイヤレスモジュールをオンにすると電力消費が増えます。本製品をワイヤレスネットワークの中で運用する場合、乾電池ではなく別売の AC アダプターを電源として使用することを推奨します。

1. 体重計の電源をオンにします。
2. サブメニュー「rf（無線周波数）」でメニュー項目「SYS（システム）」を選択します。
3. その選択を確定します。
4. 設定「on（オン）」を選択します。
5. その選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。

SYS

On

ワイヤレスグループを設定する（Lrn（記憶させる））

rF

Lrn

Id 0

Id 1

C1 0

C230

C360

ワイヤレスグループを設定するには、次の手順で行ってください。

1. 体重計の電源をオンにします。
2. メニューを呼び出します。
3. メニューで項目「rf（無線周波数）」を選択します。
4. その選択を確定します。
5. サブメニュー「rf（無線周波数）」でメニュー項目「lrn」（記憶する）を選択します。
6. その選択を確定します。

   現在設定されているワイヤレスグループ（ここではワイヤレスグループ 0「ID 0」）が表示されます。

   ワイヤレスグループ「0」が既に存在し、この装本製品でその他のワイヤレスグループを設定したい場合には、矢印ボタンで他の ID を選択してください（ここではワイヤレスグループ 1「ID 1」）。
7. ワイヤレスグループの選択を確定します。

   ディスプレイにチャンネル 1 のチャンネル数が表示されます（ここでは C1「0」）。
   表示されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。
8. チャンネル 1 に対する選択を確定します。

   続いて、チャンネル 2 のチャンネル数が表示されます（ここでは C2「30」）。
   表示されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

   注意事項
   二桁目のチャンネル数の表記は、空きスペースなしで行います。「C230」という表示は、チャンネルが「2」、チャンネル数が「30」を意味しています。
9. チャンネル 2 に対する選択を確定します。

   ディスプレイにチャンネル 3 のチャンネル数が表示されます（ここでは C3「60」）。
   表示されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。
10. チャンネル 3 に対する選択を確定します。

StOP

StOP（ストップ）というメッセージがディスプレイに表示されます。

体重計は、電波が届く範囲にある他のワイヤレス通信装置からのシグナルを待ちます。

注意事項
その他のワイやレス通信装置の中には、それをワイヤレスグループに統合しようとする際に、スイッチをオンにするための特別な手続きを必要とするものがあります。それぞれの装置の取扱説明書に留意してください。

11. ワイヤレスグループに統合したい装置 (例えばワイヤレスプリンターなど）の電源をオンにしてください。

    ワイヤレスプリンターの場合は、体重計に認識されると、ピーという音が聞こえます。

    注意事項
    ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されたら、続いて印刷オプションを選択し（メニュー \ 無線周波数 \ 自動プリント）、時刻を設定します（メニュー \ 無線周波数 \ 時刻）。

12. このステップ 11. を、このワイヤレスグループに統合しようとするすべての装置に対して繰り返してください。
13. 送信ボタンを押してサーチ手続きを終了します。

MO 3

14. 矢印ボタンを押して、どの装置が認識されたかを表示してください（ここでは Mo 3）。

    複数の装置をワイヤレスグループに統合したときには、矢印ボタンを複数回押し、すべての装置がこの体重計によって認識されていることを確認してください。

15. 送信ボタンでメニューを終了させるか、メニューが自動的に終了するまで待ちます。

自動転送をオンにする（ASend（自動転送））

測定結果を同じワイヤレスグループに登録されている、受信可能なすべての受信装置（例えばワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に自動的に送られるように、この体重計にを設定することができます。

注意事項
ワイヤレスプリンターを使用するときには、印刷オプションとして「off」が設定されていないことを確認してください（26 ページの「印刷オプション（APrt（自動印刷））を選ぶ」を参照）。

1. 体重計の電源をオンにします。
2. サブメニュー「rf（無線周波数）」でメニュー項目「ASEnd（自動転送）」を選択し、その選択を確定します。
3. 設定「on（オン）」を選択し、その選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。

印刷オプション（APrt（自動印刷））を選ぶ

測定結果をワイヤレスグループに登録されているワイヤレスプリンターで印刷するように体重計を設定することができます。

注意事項
この機能にアクセスできるのは、「learn（記憶させる）」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されている場合に限られます。

1. 体重計の電源をオンにします。
2. サブメニュー「rf（無線周波数）」でメニュー項目「APrt」を選択し、その選択を確定します。

3. 印刷したいデータの組み合わせに該当する設定を選びます。
   – HI　グループを組んだワイヤレス対応身長計の測定結果
   – MA　体重計の測定結果
   – HI_MA　グループを組んだワイヤレス対応身長計およびこの体重計の測定結果
   – off（オフ）　自動印刷なし。印刷したい時のみ、測定後に送信ボタンを長押しします。
4. 選択を確定します。
   メニューは自動的に終了します。

時刻を設定する（Time（時刻））

ワイヤレスプリンターが測定結果に自動で日付と時刻を追加するようにこのシステムを設定することができます。それには一度本製品で日付と時刻を設定し、ワイヤレスプリンターの内蔵時計にそのデータを転送する必要があります。

注意事項
この機能にアクセスできるのは、「learn（記憶させる）」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されている場合に限られます。

1. 体重計の電源をオンにします。

t IME

2. サブメニュー「rf（無線周波数）」でメニュー項目「tIME」を選択します。

YEA 10

3. その選択を確定します。
   現在の「Year（年）」の設定が表示されます。
4. 正しい年数を設定します。
5. その選択を確定します。
6. ステップ 3. とステップ 4. を「Month」（Mon）、「Day」（dAY）、「Hour」（ ）、Minute（M in）に対して繰り返します。
7. その都度、選択を確定します。
   分の設定を確定するとメニューは自動的に終了します。
   設定は自動的にワイヤレスプリンターに転送されます。
   ワイヤレスプリンターは、自動的にすべてのプリントアウトに日付と時刻を追加します。

注意事項
ワイヤレスプリンターのその他の操作に関しては、その取扱説明書に留意してください。

7. 清掃

必要に応じて、カバーとボディーを家庭用洗剤または市販の消毒剤で清掃して下さい。メーカーの指示を遵守してください。

清掃にクレンザーや刺激性のあるクリーナー、アルコール、ベンジン、その他同様のものを使用しないでください。そのようなものを使用すると高品質な表面が損なわれることがあります。

8. こんなときはどうする？

トラブル	原因 / 対処法
何かを載せても体重が表示されない。	体重計に電力が供給されていない。 - 体重計のスイッチがオンになっているか確認してください。 - 乾電池もしくは AC アダプター（別売）の状態を確認してください。
体重測定の前に 0.00 が表示されない。	体重計がオンになる前から何かが載せられていた。 - 体重計に載っていたものを降ろしてから、体重計の電源を一旦オフにし、再度オンにします。
特定のセグメントが常に点灯している、またはまったく点灯しない。	該当する箇所に何らかの故障がある。 - メンテナンスサービスに連絡してください。
が表示されている。	電池の電圧が弱くなっています。 - 交換用の乾電池をご用意ください
表示 bAtt が表示される。	電池が切れている。 - 新しい乾電池に交換してください。
StOP と表示される。	最大計測可能限度を超えています。
tEMPが表示されている。	体重計の周囲の温度が高すぎる、あるいは低すぎる。 - 体重計を周囲の温度が +10 ° C から +40 ° C までの場所に設置してくさい。 - 体重計が周囲の温度になじむまで約 15 分待ちます。
スイッチをオンにした後、初めて測定結果を転送し、二度シグナル音が聞こえた。	• ワイヤレス受信装置（seca ワイヤレスプリンターまたは USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に測定結果を送ることができなかった。 – 体重計がワイヤレスネットワークに統合されていることを確認してください。 – 受信装置のスイッチがオンになっていることを確認してください。 • 受信機は、近くにある HF（短波）装置（例えば携帯電話）によって障害を受けます。 - HF（短波）装置と seca ワイヤレスネットワーク内の発信装置、受信装置の間隔を 1 m 以上あけてください。 **注意事項** この障害が取り除かれないと、それ以上転送を試みても、新たなアラーム音は聞こえません。

トラブル	原因 / 対処法
rF メニューに項目「SYS」しか表示されない。	• ワイヤレスモジュールがオフになっている。 - ワイヤレスモジュールをオンにしてください（23 ページの「ワイヤレスモジュールをオンにする（SYS）」を参照）。
rF メニューに項目「SYS」と「lrn」しか表示されない。	• ワイヤレスモジュールがオンになっていて、ワイヤレスグループが設定されていない。 - ワイヤレスグループを設定してください（24 ページの「ワイヤレスグループを設定する （Lrn（記憶させる））」を参照）。
rF メニューに項目「APrt」と「Time」が表示されない。	• ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループの中に登録されていない。 - ワイヤレスグループのメニュー項目「lrn」でワイヤレスプリンターを登録してください（24 ページの「ワイヤレスグループを設定する （Lrn（記憶させる））」を参照）。
Er:H: 11 と表示される。	体重計に重すぎるものが載せられているか、かたよった場所に重さがかかっている。 - 体重計を再スタートさせた後で、均等に重さがかかるようにして再度計測してください。
Er:H: 12 と表示される。	体重計に重いものが載せられた状態でスイッチがオンになった。 - 体重計から載せられていたものを降ろします。 - 体重計を再スタートさせます。
Er:H: 16 と表示される。	体重計がぐらついてゼロ値を測定できなかった。 - 体重計を再スタートさせます。
エンターボタン（送信 / 印刷）を押して、Er:H:71 が表示される。	データの転送ができません。ワイヤレスモジュールがオフになっています。 - ワイヤレスモジュールをオンにしてください（23 ページの「ワイヤレスモジュールをオンにする（SYS）」を参照）。
エンターボタン（送信 / 印刷）を押して、Er:H:72 が表示される。	データの転送ができない。ワイヤレスグループが設定されていない。 - ワイヤレスグループを設定してください（24 ページの「ワイヤレスグループを設定する （Lrn（記憶させる））」を参照）。

9. 国家検定 / 定期検査およびメンテナンス

9.1 国家検定 / 定期検査及びメンテナンスについての情報

本体重計は国家検定付です。各都道府県で 2 年毎に実施される定期検査を必ず受けてください。

気をつけて！
不適切なメンテナンスによる誤測定

– 国家検定付の体重計には 1cm 四方のアルミ板の中央に 2mm 四方ほどの検定証印が検定取得年月と共に刻印されています。
– 本製品のメンテナンスは、必ず専任スタッフに依頼してください。
– 定期検査の不合格の場合は、修理の上、再度国家検定の取得が必要となります。
– 詳しくは、info@seca.co.jp もしくは 043-216-0850 までお問い合わせください。

9.2 調整回数メーター内容を検証する

この seca 体重計は検定を受けています。検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。
メーターは調整回数をすべて記録します。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。

1. 体重計の電源をオフにします。
2. 電源以外の任意のボタンを押しながら、電源を ON にします。

   ディスプレイに数秒間、現在の調整数メーター内容が点滅します。

3. 表示された調整回数メーター内容を度量衡体重計本体に貼ってある、調整回数ステッカーの数値と比較します。

メーターが表示する調整回数数値と、ステッカーに記載されている数値は一致していなくてはいけません。一致していない場合は、専任のテクニカルスタッフ以外によって内部調整が行われている可能性があります。再検定の必要がありますので、seca にお問い合わせください。

10. 技術データ

10.1 一般的技術データ

seca 704 技術データ	
外形寸法 • 奥行 • 幅 • 高さ	 520 mm 360 mm 930 mm
重量	17 kg
温度範囲	+10 ℃ ～ +40 ℃
文字表示サイズ	25 mm
電源供給	乾電池 電源ユニット（オプション）
消費電流 • ワイヤレスモジュールがオフの場合 • ワイヤレスモジュールがオンの場合	 約 32 mA 約 50 mA
乾電池ご使用時の使用可能回数 • ワイヤレスモジュールがオフの場合 • ワイヤレスモジュールがオンの場合	 約 5,600 分 電源ユニット使用を推奨
指令 93/42/EEC および 2007/47/EC に準拠した医療用製品（ヨーロッパ内）	クラス I、測定機能付
指令 2009/23/EC に準拠して検定（ヨーロッパ内）	クラス III
EN 60 601-1（ヨーロッパ内） • 保護絶縁された装置、保護クラス II • 電子医療機器（タイプ B）（ヨーロッパ内）	 □ 🚶
保護タイプ	IP 20
運用タイプ	連続運転
無線転送 • 周波数帯 • 送信出力 • 準拠規格	 2.433 GHz - 2.480 GHz < 10 mW EN 300 328、 EN 301 489-1、-17

10.2 重量測定データ

重量測定データ	
指令 2009/23/EC に準じて検定 (ヨーロッパ内）	クラス III
精度クラス（日本）	3 級

重量測定データ	
型式認定番号（日本）	D1313 号
最大測定重量 • 重量測定領域 1 • 重量測定領域 2	 150 kg 300 kg
最小測定重量 • 重量測定領域 1 • 重量測定領域 2	 1 kg 2 kg
表示単位 • 重量測定領域 1 • 重量測定領域 2	 50 g 100 g
風袋（身に着けるもの）の範囲	300 kg まで
初回検定時の精度 • 重量測定領域 1　0 - 25 kg • 重量測定領域 1　25 - 100 kg • 重量測定領域 1　100 kg - 150 kg • 重量測定領域 2　0 - 50 kg • 重量測定領域 2　50 - 200 kg • 重量測定領域 2　200 kg - 300 kg	 ± 25 g ± 50 g ± 75 g ± 50 g ± 100 g ± 150 g

11. アクセサリー

アクセサリー	物品番号
seca ワイヤレスネットワーク **seca 360 –ワイヤレス** • ワイヤレスプリンター - **seca 360 – ワイヤレス プリンター 465** - **seca 360 – ワイヤレス プリンター アドバンスト 466** • パソコン用ソフトウェア - **seca analytics 105** • USB ワイヤレスモジュール **seca 360 – ワイヤレス USB アダプター 456**	 国ごとに異なる 国ごとに異なる 用途ごとのライセンスモデル 456-00-00-009
電源供給 • AC アダプター、Euro: 230V~ / 50Hz、12V= / 150mA	68-32-10-252
スイッチモード電源ユニット： • 100-240V~ / 50-60Hz / 12V= / 0.5A	68-32-10-265
その他のアクセサリー • 身長計 seca 220、測定範囲　890 ～ 2000 mm、目盛り　1 mm、使用素材　アルミニウム（硬質アルマイト加工）	220-17-14-004

12. 廃棄処分について

12.1 製品の廃棄処分

この製品は家庭ゴミで廃棄しないでください。地域の規定を遵守し、産業廃棄物として適切に廃棄してください。

12.2 乾電池

使用済みの乾電池は、それが有害物質を含んでいるか否かに関わらず、地域の規定に沿って適切に廃棄してください。

13. 保証について

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より 1 年間の保証期間が適用されます。ただし、電池、ケーブル、AC アダプター、といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただけば無償で修理いたします。これ以外の請求は保証の対象とはなりません。本製品がお客様のご住所とは別の場所にある場合、往復の運送費はお客様のご負担になります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包一式を使用し、その梱包中で本製品が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca 社の専任のテクニカルスタッフでない人が本製品を開けた場合、保証は失効します。

国外にお住まいのお客様につきましては、保証をご請求される場合、各国の販売店へ直接お問い合わせいただきますようお願いいたします。